令和８年１０月９日

国土交通分野に関連する事業者様各位

国土交通分野におけるジェンダー主流化に関する実態調査へのご協力のお願い

国土交通省総合政策局共生社会政策課

日頃より国土交通行政に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、国内外において、政策やサービスの企画・実施に当たり、多様な利用者や働き手のニーズを適切に把握し、施策や事業に反映していくことの重要性が認識されています。国土交通分野においても、商品・サービスの利用実態、安全性、働き方等に関して、利用者や従事者の性別等によるニーズや影響の違いを踏まえ、より安全で利用しやすいサービスや働きやすい環境の実現につなげる観点から、ジェンダー主流化の取組が進められています。

国土交通省では、令和７年５月にジェンダー主流化推進本部及びジェンダー主流化推進室を設置し、本年６月には今後の取組の方向性を示すものとして、「国土交通省ジェンダー主流化行動宣言」[1]を公表しました。

このたび、国土交通分野で事業活動を担われている皆様の取組状況やお考えを伺い、ジェンダー主流化に関する現状や課題等について幅広く把握することを目的として、「国土交通分野におけるジェンダー主流化に関する実態調査」を実施することといたしました。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

調査へのご参加・回答はこちらからお願いいたします。（〆切：11 月 20 日（金））

https://forms.cloud.microsoft/r/7fH4tilctf

※Microsoft Forms を利用しています。
※匿名での回答も可能です。
※ご希望の事業者様には、本調査の結果をお送りいたします。
※２ページ目以降は設問一覧です。

【お問い合わせ先】
国土交通省総合政策局共生社会政策課　　TEL：03-5253-8111

【調査委託先】
株式会社サンビーム　　TEL：03-4446-5056

※アンケートのご回答に関する技術的なお問い合わせは、上記調査委託先へお願いいたします。

[1] https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/content/002006124.pdf

国土交通分野におけるジェンダー主流化に関する実態調査 設問一覧　　※ご回答は1枚目のURLからお願いします。

設問番号	設問文	回答必須かどうか	選択肢
貴社について教えてください。			
問１	貴社の業種を教えてください。 （最も当てはまるものを１つお答えください）	必須	1.建設業（土木） 2.建設業（建築） 3.建設コンサルタント業 4.住宅・不動産業 5.インフラ・公益事業（道路、上下水道、都市基盤等） 6.鉄道事業者 7.バス事業者 8.タクシー事業者 9.トラック・物流（倉庫含む）事業者 10.港湾・海事事業者 11.航空関連事業者 12.観光・旅行・宿泊関連事業者 13.その他（自由記述）
問２	貴社の従業員数を教えてください。	必須	1.30人未満 2.30～100人 3.101～300人 4.301～999人 5.1,000人以上
問３	貴社の郵便番号をお書きください。 （本社・本店ではなく、ご回答いただいている方の所属する事業所の郵便番号を入力してください）	必須	
問４	貴社の男性従業員数と女性従業員数の比率を教えてください（契約社員やパートを含む）。 （もっとも近いものを一つお答えください）	必須	・全員男性 ・男性90%：女性10% ・男性80%：女性20% ～ ・男性20%：女性80% ・男性10%：女性90% ・全員女性
問５	貴社の管理職における男女比率を教えてください。 （もっとも近いものを一つお答えください） ここでいう管理職とは、「課長級」と「課長級より上位の役職（役員を除く）」の合計です。 「課長級」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。 ①事業所で通常「課長」と呼ばれている者であって、その組織が二係以上からなり、 若しくは、その構成員が10人以上（課長を含む。）のものの長 ②同一事業所において、課長の他に、呼称、構成員に関係なく、その職務の内容及び責任の 程度が「課長級」に相当する者（ただし、一番下の職階ではないこと。） ※ 一般的に「課長代理」や「課長補佐」については、「課長級」に該当しません。	必須	・全員男性 ・男性90%：女性10% ・男性80%：女性20% ～ ・男性20%：女性80% ・男性10%：女性90% ・全員女性

国土交通分野におけるジェンダー主流化に関する実態調査 設問一覧　　※ご回答は1枚目のURLからお願いします。

設問番号	設問文	回答必須かどうか	選択肢
女性活躍や男女平等の観点から、貴社の利用者への取り組みについて教えてください。			
問６	貴社が商品・サービス等を新しく企画・改善する際に、女性活躍や男女平等に関する取り組み、男女の違いに配慮への観点から、どのような取り組みをされていますか。	必須	1. 体格・身体的特徴の違い（体型・筋力等）に配慮したハード設計・規格の見直し （例：手すり・吊り革・シートの高さや深さ、機器の操作位置など、女性や小柄な人の体格に合わせた調整） 2. 女性特有の身体的ニーズや衛生面・快適性に配慮した施設・空間の整備 （例：女性トイレの増設・混雑緩和設計、パウダースペース、フィッティングボード、生理用品の常備等） 3. 女性特有の犯罪被害の防止や心理的安全性（防犯・安心）に配慮した空間・サービスの提供 （例：痴漢・盗撮・ハラスメント対策、夜間等の照明・視認性向上、防犯カメラ配置、女性専用車両・エリアの導入） 4. 男性の家事・育児参画に伴う、従来女性向けとされてきた設備の男性空間への導入 （例：男性トイレや共有スペースへのベビーベッド・おむつ替え台の設置等） 5. 商品開発やサービス改善のプロセスにおける「女性視点」の積極的な反映 （例：企画・開発チームへの女性の参画、女性モニターや女性利用者の意見の優先的な集計・分析） 6. 顧客データ・利用実態データの「性別（属性別）」による分析と施策への活用 （例：移動目的、利用時間帯、サービス不満点などの性別差の把握と分析） 7. 性別による違いやジェンダーの視点に配慮した取り組みは特に行っていない 8. その他（自由記述）
問７	全問で「7. 性別による違いやジェンダーの視点に配慮した取り組みは特に行っていない」と回答した方にお尋ねします。 現在特に取り組みを行っていない理由は何ですか。 （当てはまるものをすべてお答えください）	問６で７の回答者	1.必要性を感じない 2.何をすればよいか分からない 3.人員不足 4.ノウハウ不足 5.予算不足 6.優先順位が低い 7.その他（自由記述）

国土交通分野におけるジェンダー主流化に関する実態調査 設問一覧　　※ご回答は1枚目のURLからお願いします。

設問番号	設問文	回答必須かどうか	選択肢
問８	（すべての方にお尋ねします） 貴社が商品・サービス等を新しく企画・改善する際に、女性活躍や男女平等に関する取り組み、男女の違いに配慮することは効果があると思いますか？ １～５からもっとも当てはまるものをお答えください。	必須	＜効果＞ 1.非常に効果があると思う 2.ある程度効果があると思う 3.どちらとも言えない 4.あまり効果はない 5.全く効果はない
問９	前問で「1.非常に効果があると思う」「2.ある程度効果があると思う」と回答した方にお尋ねします。 どのような効果を感じていますか。	問8で1・2を回答	（自由記述）
問10	貴社が商品・サービス等を新しく企画・改善する際に、女性活躍や男女平等に関する取り組み、男女の違いに配慮することはどの程度重要だと思いますか？ １～５からもっとも当てはまるものをお答えください。	問8で1・2を回答	＜重要性＞ 1.非常に重要だと思う 2.ある程度重要だと思う 3.どちらとも言えない 4.あまり重要ではない 5.全く重要ではない
女性活躍や男女平等の観点から、貴社におけるご意見や要望の把握について教えてください。			
問11	貴社では、利用者のご意見や要望を把握する際に、どのような方法で行っていますか。 （当てはまるものをすべてお答えください）	必須	1.アンケート調査 2.ヒアリング調査 3.グループインタビュー調査 4.1～3以外のデータ分析 （例：人流データの分析等） 5.要望・苦情の分析 6.モニター調査 7.調査会社等への委託 8.特に実施していない 9.その他（自由記述）
問12	貴社の商品・サービス等を利用する利用者や顧客のデータを属性別（性別等）で収集していますか。	必須	1.している 2.一部している 3.今後する予定である 4.していない
問13	前問で「3.今後する予定である」「4.していない」と回答した方にお尋ねします。 現在収集を行っていない理由は何ですか。 （当てはまるものをすべてお答えください）	問12で3・4を回答	1.必要性を感じない 2.何をすればよいか分からない 3.人員不足 4.ノウハウ不足 5.予算不足 6.優先順位が低い 7.その他（自由記述）
女性活躍や男女平等の観点から、貴社の職場環境について教えてください。			
問14	（すべての方にお尋ねします） 貴社では、性別の違いに配慮した、働きやすい職場づくりに取り組んでいますか。	必須	1.積極的に取り組んでいる 2.一部取り組んでいる 3.今後取り組みたい 4.特に取り組んでいない
問15	前問で「1.積極的に取り組んでいる」「2.一部取り組んでいる」と回答した方にお尋ねします。 （「3.今後取り組みたい」、「4.特に取り組んでいない」と回答した方は、問16にお進みください。） 貴社で実施している取り組みを教えてください。 （当てはまるものをすべてお答えください）	設問14で1・2を回答	1.男女のバランスを考慮した採用 2.女性管理職育成 3.男性の育児休業取得促進 4.育児・介護支援 5.柔軟な勤務制度（テレワーク、時短勤務等） 6.ハラスメント防止やそれに係る研修 7.長時間労働の是正 8.福利厚生や休暇の充実 9.その他（自由記述）

国土交通分野におけるジェンダー主流化に関する実態調査 設問一覧　　※ご回答は1枚目のURLからお願いします。

設問番号	設問文	回答必須かどうか	選択肢
問16	貴社で実施した取組のうち、女性活躍や男女平等の観点から、特に成果があったものがあれば教えてください。 例） ・育児、介護と仕事を両立しやすい勤務制度を導入した。 ・女性専用の更衣室やトイレを整備した。 ・男性の育児休業取得を促進する制度を導入した。	設問14で1・2を回答	（自由記述）
問17	その取組を進める上で得られたノウハウや工夫、他社にも参考になる点や留意点があれば教えてください。 例） ・いきなり本格導入せずに、試験導入から開始した。 ・現場担当者と十分に意見交換しながら進めた。	設問12で1・2を回答	（自由記述）
問18	（すべての方にお尋ねします） 性別の違いに配慮した働きやすい職場づくりについて、取り組む上で、貴社で課題となっていることは何ですか。 （いま取り組んでいない場合は、取り組んでいない理由は何ですか。） （当てはまるものをすべてお答えください）	必須	【ハード・設備・作業環境の課題】 1. 設備・施設の設置や改修のコスト（初期投資）が高い （例：男女別のトイレ、更衣室、仮眠室、シャワー室の増設・改修費用等） 2. 現場や事業所の物理的なスペースが不足している （例：仮設現場、移動体（車内・船内・機内）、狭小な事業所等での空間的制約） 3. 作業服・保護具・工具等の規格が体格に合わない・選択肢が少ない （例：男性の体格を前提とした製品規格、重い資機材・用具等） 【組織風土・意識の課題】 4. 業界や現場における従来の慣行や固定的な性別役割意識（バイアス）がある （例：「男性中心の現場」という意識、従来の働き方の固定観念等） 5. 経営層・役員層の理解や推進に向けた優先度が低い 6. 現場の管理職や同僚等の理解・協力が得られにくい 【業務特性・リソース・ノウハウの課題】 7. 勤務体系や業務特性上、配慮や柔軟な働き方の導入が難しい （例：夜勤・シフト制、長時間労働、突発的な現場対応、直行直帰等） 8. 人手不足や日常業務の過密により、取り組む時間・人員の余裕がない 9. ノウハウや知識が不足しており、具体的な進め方が分からない 10. 取組による効果やメリット（業績向上や採用への寄与等）が見えにくい 11. 他社の成功事例や、参考にできる業界向けガイドライン等の情報が不足している 【その他】 12. 特に課題や障壁は感じていない（円滑に取り組めている／課題はない） 13. その他（自由記述）

国土交通分野におけるジェンダー主流化に関する実態調査 設問一覧　　※ご回答は1枚目のURLからお願いします。

設問番号	設問文	回答必須かどうか	選択肢
問19	貴社が、職場づくりに性別による違いに配慮することは効果があると思いますか？ １～５からもっとも当てはまるものをお答えください。	必須	＜効果＞ 1.非常に効果があると思う 2.ある程度効果があると思う 3.どちらとも言えない 4.あまり効果はない 5.全く効果はない
問20	前問で「1.非常に効果があると思う」「2.ある程度効果があると思う」と回答した方にお尋ねします。 どのような効果を感じていますか。	問19で1・2を回答	（自由記述）
問21	貴社が、職場づくりに性別による違いに配慮することはどの程度重要だと思いますか？ それぞれ１～５からもっとも当てはまるものをお答えください。	必須	＜重要性＞ 1.非常に重要だと思う 2.ある程度重要だと思う 3.どちらとも言えない 4.あまり重要ではない 5.全く重要ではない
女性活躍や男女平等の観点から、国や自治体に期待する支援、貴社の今後の意向などについて教えてください。			
問22	貴社が商品・サービス等を新しく企画・改善する際や、男女ともに働きやすい職場づくりを行う際に、女性活躍や男女平等に関する取り組みを進めるうえで、国や自治体に期待する支援は何ですか。	必須	1.ガイドラインの整備 2.成功事例集の提供 3.研修・セミナーの開催 4.専門家の派遣 5.補助金・助成金の給付 6.相談窓口の設置 7.統計・データの提供 8.特になし 9.その他（自由記述）
問23	設問18の回答について、具体的な内容の想定があればお書きください。		（自由記述）
問24	これまでの設問の通り、利用者の多様なニーズに応えることや、現場設備・用具の見直し等を通じて誰もが働きやすい環境をつくることは、性別にかかわらず全ての人が利用しやすく、活躍できる社会につながります。こうした視点を事業や政策に取り込む考え方を「ジェンダー主流化」と呼びます。 このような「多様な視点（ジェンダー等の視点）を事業や職場環境に取り入れること」について、貴社における今後の方向性として最も近いものはどれですか。	必須	1.今後も積極的に推進・拡大したい 2.現状の取組を維持・継続したい 3.今後新たに取組を開始・検討したい 4.関心はあるが、自社単独での実施は難しい 5.特に必要性を感じない

国土交通分野におけるジェンダー主流化に関する実態調査 設問一覧　　※ご回答は1枚目のURLからお願いします。

設問番号	設問文	回答必須かどうか	選択肢
その他			
問25	その他、女性活躍や男女平等の観点からの取り組みや本アンケートに関わるご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。		（自由記述）
問26	貴社の取り組みやご意見につきまして、詳しくお話を伺うための追加ヒアリング（インタビュー）にご協力いただくことは可能でしょうか。 ※ご回答内容を踏まえ、一部の企業様にのみ個別にご連絡させていただきます。「はい」とお答えいただいた場合でも、必ずしもヒアリングをお願いするとは限りませんので、あらかじめご了承ください。	必須	1.はい（協力可能） 2.いいえ
問27～33	前問で「1. はい（協力可能）」とご回答いただいた方は、ご連絡先をご記入ください。 ※ご入力いただいた個人情報は、本アンケートの回答内容に関する確認、および追加ヒアリング（インタビュー）のご連絡・実施の目的にのみ使用いたします。法令に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者に提供・開示することはございません。		＜連絡先ご記入欄＞ 貴社名（事業者名）：[　　] ご所属（部署名等）：[　　] お名前（ご担当者様）：[　　] お名前フリガナ：[　　] 電話番号：[　　] メールアドレス：[　　] 【任意】ご連絡にあたってのご希望（連絡可能な時間帯・連絡方法など）：[　　]
問34～39	本調査の結果の送付をご希望の方はご連絡先をお知らせください。（問27を記載頂いている方は、メールアドレスのみご記載ください）		＜連絡先ご記入欄＞ 貴社名（事業者名）：[　　] ご所属（部署名等）：[　　] お名前（ご担当者様）：[　　] お名前フリガナ：[　　] 電話番号：[　　] メールアドレス：[　　]